

阿賀野川自然再生の今後の進め方



阿賀野川河川事務所

令和3年3月

1. 今後の工程(案) 短期的対応

- ・本年度で、短期的対応の全ての整備が終了。
- ・よってR3年度は、モニタリング調査として、小阿賀樋門、及び水ヶ曾根地区を継続する。
- ・また、R4年度からの中期的対応に向けて、調査・検討を開始する。

| 分類 | 項目 | 短期的対応 | | | | | | | | 中期的対応 | |
|---------|---------|-------|-----|--------------|-----|----------|----------|----------|----|-------|-----|
| | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4~ |
| ワンド再生 | 焼山地区 | 前 | 工事 | 整備モニタリング | | | | | | | |
| | | | | 追加調査、追加対策の検討 | | | | | | | |
| | 高山地区 | 前 | 工事 | | 工事 | 整備モニタリング | | | | | |
| | 論瀬地区 | | | 前 | 工事 | 整備モニタリング | | | | | |
| | 下里地区 | | | | 前 | 工事 | 整備モニタリング | | | | |
| | 水ヶ曾根地区 | | | | 前 | 工事 | 整備モニタリング | | | | |
| 流れの多様性 | 三本木大橋下流 | | | | 前 | 工事 | 整備モニタリング | | | | |
| | 善願橋下流 | | | | | | 工事 | 整備モニタリング | | | |
| 連続性の確保 | 満願寺閘門 | | | 運用開始 | | | 整備モニタリング | | | | |
| | 小阿賀樋門 | | | | | 前 | 工事 | 整備モニタリング | | | |
| 砂礫河原の再生 | 水ヶ曾根地区 | | | | | 前 | 工事 | | | | |
| | | | | | | | | 整備モニタリング | | | |

※本工程表は、当初工事までの案を示している。 工事後は、整備モニタリングを行い、整備箇所状況を評価し、必要に応じて追加対策等を検討する。

前 : 事前調査

整備モニタリング後には河川監視モニタリングを実施する。

- ・ 測量、及び、河川水辺の国勢調査による生物調査。
- ・ 測量は、大規模出水後に実施。
- ・ 国勢調査は、魚類、植生図・河川形態を対象とし、5年に1回のサイクルに合わせ実施。

3. 令和3年度 モニタリング調査計画(案)、検討会

- ・次年度は、短期的対応にかかる整備モニタリングとして、砂礫河原再生箇所、及び、小阿賀樋門のモニタリングを継続する。
- ・中期的対応として浅場整備箇所の事前調査、および整備形状の検討（沢海地区）を行う。
- ・モニタリング検討会は、1回程度の開催を予定。

事前調査

(整備箇所の事前調査は、平成29年度までに全て終了)

整備モニタリング調査 (短期的対応)

- ①砂礫河原再生箇所（水ヶ曾根地区）
 - ・ UAV空撮、形状把握、水理状況の把握（出水時及び出水後）
 - ・ 整備効果の定量的評価 侵食量、水理条件 等
- ②小阿賀樋門
 - ・ サケの遡上調査（10月～11月）
 - ・ 整備効果の定量的評価 遡上率、水理条件 等

整備形状の検討 (中期的対応)

- ③浅場整備箇所の事前調査（沢海地区）
 - ・ 鳥類の現況調査 ハクチョウ類、サギ類等水鳥の利用状況
 - ・ 植物の現況調査 頻度法、湿生植物の種類・生育比高
- ④ダウンサイジングを考慮した形状の設計

モニタリング 検討会

- 第13回 令和3年度 冬
 - ・ 短期的対応の整備モニタリング調査結果報告
 - ・ 中期的対応のうち、浅場の整備形状（案） 等

- ・阿賀野川での自然再生の取組を、広く市民にも知ってもらい、身近に感じていただくため、阿賀野川自然再生のロゴを制作
- ・阿賀野川自然再生のシンボルであるウケクチウガイとトゲソを中心に、浅場を利用し、越後平野生態系ネットワークのシンボルであるハクチョウ類を加えたもの。

<ロゴ>



<色違いイメージ>

